

平成29年度「美術I」シラバス

教科（科目）	単位数	指導学年	教科書名	副教材等
芸術（美術I）	2	第1学年	高校生の美術1	

学習の到達目標 ・美術Iでは、中学校美術の学習で身に付けた創造的な表現と鑑賞の力を更に伸ばすことを目的とする。
 ・自分の描いたイメージを表現できる喜びを感じられるようにする。想像力や発想力、構想力をのばし、創造的に表現する。
 ・作品のよさ、作者の心情や、現代美術や伝統的な美術及び地域的美術の特質などを感じ取り、感性や美術を愛好する心を高める。

学期	単元・題材	指導内容・学習内容
1	○オリエンテーション	・似顔絵付きの自己紹介カードの作成。
	○美術を考える	・美術を学ぶ上で重要な視点をかえて、よく視る（観る）ことの大切さについて学ぶ。 ・クイズ形式のプリントを用意し、視点をかえるとはどういうことか理解する。
	○島ぞうりアート	・自分が使ってみたいと思うデザインについて考え、オリジナルの島ぞうりを制作する。
	○文字のデザイン	・さまざまな文字の表現方法について学び、その効果について考える。 ・明朝体とゴシック体の代表的な2つの書体のレタリングの基本について学ぶ。
2	○絵画表現とデザイン	・デカルコマニー、フロッターージュ、スパッタリングなどの絵画の古典的な技法について学ぶ。 ・絵画の古典技法を用いて、作品を一点制作する。公募のあるポスターの中から生徒に描いてみたいポスターを選んでもらい、それぞれのテーマにあったポスターを一人一点制作する。
	○身近な美術	・ユニバーサルデザインなどについての説明を通して、暮らしの中にはさまざまな場面で美術が生かされていることに気づき、その発見を通して、美術が身近なものであるということを理解する。
	○デザインの効果 ～オリジナルCDジャケット～	・前期で学んだ表現なども生かしながら、身近なもののデザインについて考えるきっかけとして、オリジナルのCDジャケットを制作する。 ・選んだ曲のイメージを膨らませ、イメージにあった表現を見つける。
	○小さな世界を表現	・スノードームで自分のつくった小さな世界を表現する。 ・紙粘土やビーズなどの材料を効果的に使ってさまざまな表現を取り入れた作品を制作する。
	○工芸の歴史	・暮らしの中で発達してきた工芸について学ぶ。伝統工芸の歴史などに触れ、沖縄の魅力を知る。 ・エコクラフトを使って、かごなどの日常で使える作品の制作することで、工芸の必要性や文化の伝承について考える。
	○立体表現 ～オナメントづくり～	・紙粘土、針金などの素材を自由に使いクリスマス飾るオナメントを1人あたり2点以上つくり、提出する。
3	○オリジナルCM	・さまざまなCMの鑑賞を行い、映像表現の工夫などについて考える。 ・クラス内でいくつかのグループを構成し、オリジナルのCMを制作する。 ・各グループの作品CMを鑑賞し、制作意図を考える。
	○染色	・絞り染めの技法を使って、布の染色を体験する。 ・模様表現やその面白さを発見する。
	○まとめ	・作品ファイルを整理し、1年間学んだ美術についてふり返る。感想シートの記入。

評価の観点

- ・美術を愛好し、美術文化を尊重するとともに、個性を生かして意欲的、主体的に表現や鑑賞の活動に取り組み、その喜びを味わおうとする。
 - ・感性を働かせて美術のよさや美しさを感じ取り、自分なりに表現しようと工夫している。
 - ・創造的な美術表現をするために必要な技術を身に付けている。美術を幅広くとらえ理解し、その意味を自分なりに考えながら、鑑賞ができる。
- ※以上の4つの観点を規準とし、提出してもらおうプリントや作品、授業に取り組む姿勢をもとに評価する。

評価において重視する点

- ・基本的にはものをよく視たり、よく聴いたりする能力について評価し、伸ばしていきたいと考えます。ものごとをひとつの方向からではなく、さまざまな視点からみることによって豊かな心や思いやりを身に付けるきっかけとしてほしい。
- ・ものや作品を大事にすることを通して、自分自身や自分の周りの人自体も大切にできるような心情を伸ばし、育みたいと考える。
- ・日常生活の中だけでもさまざまな美術にふれられることを理解してもらい、今後の生活にも自然と豊かさを見いだせるような心情を養いたい。
- ・生徒の中には、上手に描かなければいけないという思いが強かったり、自分は絵が下手だと思い込んでしまったりする場合があります。大勢の人からみて上手に描いたり、つくったりすることではなく、自分なりの表現を見つけて楽しむことが大切だということを学んでもらいたい

「音楽Ⅰ」シラバス

平成29年度

「音楽Ⅰ」では、芸術の幅広い教育活動を通して生涯に亘り芸術（音楽）を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め芸術（音楽）の諸能力を伸ばし、また豊かな情操を養うことを目標とし、歌唱、器楽、創作、鑑賞を総合的に学習していく。

1 履修にかかわること

単位数	2	学年	1	学科：商業科	履修区分	選択必修
-----	---	----	---	--------	------	------

2 使用する主な教材

教科書	改訂版 高校生の音楽Ⅰ (音楽文芸社)
授業での配布物	鑑賞用プリント、資料プリント (補足資料等)

3 主な学習内容と目標

音楽の幅広い教育活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め創造的な表現と鑑賞の能力を育成する。

4 年間の学習計画等

学期	学習内容	月	学習内容	備考
前期	表現 (歌唱・器楽) ・校歌 (斉唱) 「翼をください」 「少年時代」 「ビリーブ」 「夢路より」 「マイウェイ」 ・キーボードの構成 鑑賞 「マリアカラス」 「モーツァルト」	4 月 ～ 9 月	<ul style="list-style-type: none"> 校歌を元気よく、のびのびと歌う。 歌詞とメロディーを確実に覚える。 それぞれの曲の特徴をつかむ。 外国語の雰囲気味わいながら歌う。 発音について理解し、複式呼吸法で歌う。 何度も歌うことで、歌詞や音程を覚える。 キーボード (鍵盤楽器) に慣れ親しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> 歌唱試験 一人で皆の前での歌唱実技試験を実施する。 ビデオ視聴 感想文の提出
	評価方法 下記を総合的に判断して評価する。 ・歌唱試験 (2回実施、自由曲・課題曲) ・課題 (選択形式・記述形式) の提出 ・授業への出席、学習活動への参加状況			
	表現 (歌唱・器楽) 「野ばら」ウェルナー作曲 「野ばら」シュベルト作		<ul style="list-style-type: none"> ドイツ、イタリアの曲を歌う。 ドイツ、イタリアの曲を通し、異国の文化や風土への興味・関心を育てる。 	前期 中間 考査